



第5回 新人助産師研修

ハイリスク妊産褥婦の病態生理と管理

於：山口県看護研修会館

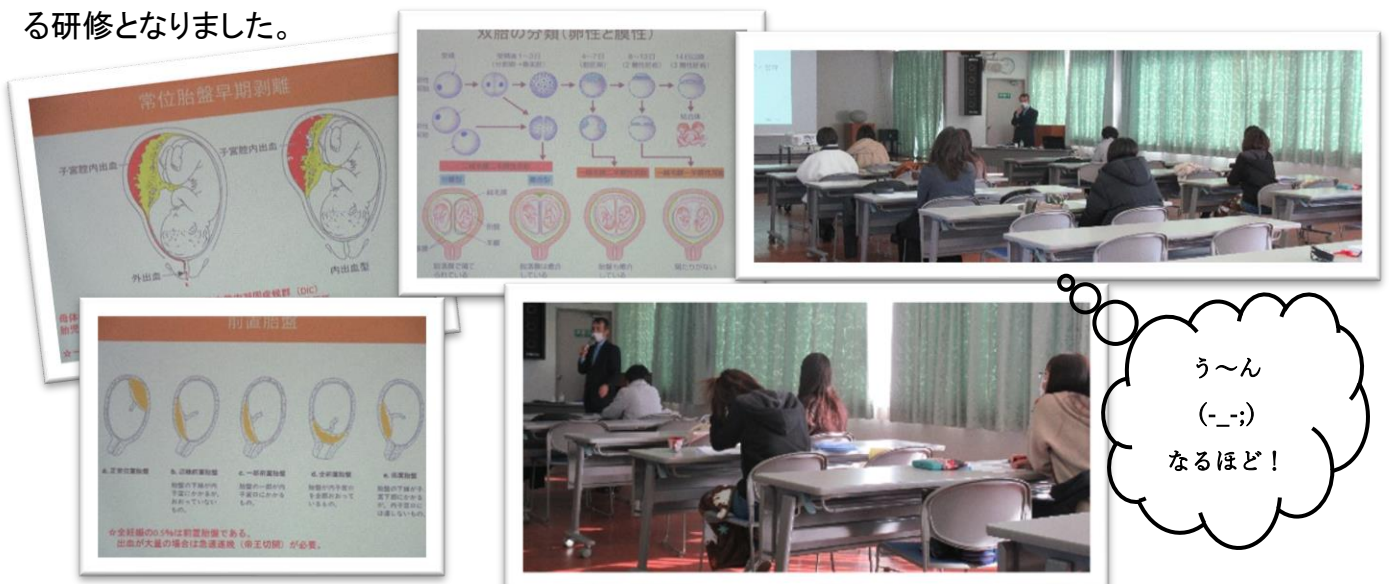
講師：徳山中央病院 産婦人科
部長 山縣 芳明先生

令和2年12月5日(土)10:00～15:00に、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながら新人助産師15名で行いました。12月ではありませんが換気をマメに行いました。



1日かけて「妊娠高血圧症候群(HDP)」「胎盤の異常」「流産」「多胎妊娠」「胎児発育不全」「耐糖能異常」の病態生理から、ハイリスク妊産褥婦の母体管理や胎児管理について詳しく学びました。また「出生前診断」についても講義して頂きました。

妊娠中毒症と言われていた昭和時代からHDPと言われるようになった経緯、HDPに伴った母体合併症についても学びました。胎盤異常では、体外受精や凍結融解胚移植の増加に伴い癒着胎盤が増えてきていることも知り、どの講義も受講生全員が興味を持ち真剣に学びを深めている姿がありました。専門的な内容で難しい分野ではありますが、ハイリスクについての知識は現場で必須となります。コロナ禍でなかなか研修に行くことができない現在、知識の再確認と習得につながる研修となりました。



次回 第6回新人助産師研修:2月20日(土)「心に残った場面」事例発表会

山口県看護協会助産師職能委員会

